



2016/7/9 - 19
立原真理子展 『帳と青』
at Gallery Hasu no hana

蚊帳の中に横たわり、その深い青緑色の境界線を眺めていると

渺茫たる奥行きが浮かぶ

川のこちら側に居る時、向こう側はとても広いし

鳥居のこちら側にいる時、あちら側は果てしない

Gallery Hasu no hana では 2016 年 7 月 9 日～19 日まで、立原真理子の当ギャラリーでは 2 年ぶりの 2 回目となる個展『帳と青』を開催いたします。近年の立原の作品は、空間を隔てる戸でありながらも、透ける、空気や光を通す、などその境目が曖昧である「網戸」を支持体とし、刺繍糸で風景を描いていく作品を発表してきました。透過性のある網戸越しに、風景を重ねることで、そこに新たな時空の境目や奥行きを映してきました。

本展では蚊帳を用いた新作を発表いたします。その形態上これまではなかった領域が生まれ、それは同時に体感へと誘導し、立原のテーマである「内側と外側」「彼岸と此岸」「時間」といった風景の中の境目の在り方のテーマをより深く探ってゆきます。

立原真理子展『帳と青』

【会期】2016年7月9日(土)～19日(火)

【時間】月・火・土・日 / 12:00 ～ 18:00
水・金 / 15:00 ～ 22:00

【観覧料】展示室 400円

【その他】併設カフェあり(3席)

【問合せ】e-mail : hasucafes@sw.sub.jp
tel : 03-3759-8470

【会場】Gallery Hasu no hana
146-0091 大田区鶴の木1-11-7

【アクセス】東急多摩川線鶴の木駅より徒歩1分。
改札を出て左方向へ進み、交番がある信号を渡りさらに左に進み、長屋商店の5軒目。

立原真理子 | たちはらまりこ

1982年 茨城県生まれ

2006年 女子美術大学芸術学部絵画学科洋画専攻 卒業

2008年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程油画研究分野 修了

【個展】

2007年 「うたた寝のそと」 フタバ画廊 (東京)

2012年 「岸と戸」 巷房 2・階段下 (東京)

2013年 「戸とそと」 藍画廊 (東京)

2014年 「とおくの庭」 Hasu no hana (東京)

新生代への視点 2014 「庭と川」 藍画廊 (東京)

2015年 「樹下の赤」 Picaresque Gallery (東京)

【主なグループ展・他】

2010年 「アーツチャレンジ 2010」 愛知芸術文化センター (愛知)

「Non-site Memory」 市田邸 (東京)

2013年 「あなたという私 - 双方向のコミュニケーションで生まれるアート -」
Gallery COEXIST-TOKYO (東京)

「ゲンビどこでも企画公募 2013 展」 広島市現代美術館 (広島)

2014年 「帯展 vol.01」 東京藝術大学 (東京)

2015年 「帯展 vol.02 - ひらく -」 帯屋捨松 (京都)

「Inner History」 藍画廊 (東京)

「GIRLS BLAVO!!!!!!」 NORA journey× 拝借景 (東京、茨城)

「都筑アートプロジェクト 2015」 大塚・歳勝土遺跡公園 (神奈川) 他



「めぐる川」 2013 サイズ可変 刺繍糸、染料、綿布、網戸
photo by 中野萌子



「中山邸の庭」 2014 29.5x45cm 透明水彩、紙 個人蔵



「戸とそと」 2013 サイズ可変 刺繍糸、網戸、その他
photo by 中野萌子